



2022年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社パイオラックス  
代 表 者 名 代表取締役社長 島津 幸彦  
(コード番号 5988 東証プライム)  
問 合 せ 先 経営管理部長 永島 亨  
(TEL. 045-577-3880)

### 業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表した2022年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、2022年11月9日開催の取締役会において、下記のとおり2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)を決議するとともに、2023年3月期の期末配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

#### ●業績予想の修正について

2023年3月期 連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	62,700	5,800	6,400	4,400	126.77
今回発表予想(B)	60,500	4,300	5,300	3,300	96.94
増 減 額 (B-A)	-2,200	-1,500	-1,100	-1,100	
増 減 率 (%)	-3.5	-25.9	-17.2	-25.0	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	55,144	5,216	5,776	4,224	121.71

#### (業績予想 修正の理由)

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績に加え、引き続き半導体の影響による減収、材料供給問題・価格高騰、輸送費やエネルギーコスト等の上昇が見込まれるとの前提に基づいて算定しており、現時点で入手可能な販売、生産動向などを勘案して通期の業績予想を見直しましたので修正いたします。

なお為替レートにつきましては、1米ドル=131円を想定しております。

(注)本業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成しており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

● 剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当

	決定額	直近の配当予想 (2022年5月30日公表)	前期実績 (2022年3月期中間)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株あたり配当金	43円00銭	60円00銭	22円50銭
配当金総額	1,519百万円	—	814百万円
効力発生日	2022年12月1日	—	2021年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 配当予想の修正

	1株あたり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想		67.00	127.00
今回修正予想		54.00	97.00
当期実績	43.00		
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	22.50	22.50	45.00

(配当予想 修正の理由)

当社グループは、株主価値ひいては企業価値の向上を図るためには、正のEVAスプレッドの維持向上が必要不可欠であると考えており、最大より最良を目指す「質重視」の経営方針に基づいて収益力の向上及び資本効率性の向上を目指します。株主の皆様に対する利益配分につきましては、企業価値向上に資する成長投資を確保しつつ、資本効率性を勘案した、弾力的な利益還元を行うことを基本方針としております。

当社は2022年5月30日に「配当政策の変更及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」の開示を行っており、2023年3月期から2025年3月期までの3期間は、連結配当性向100%を目標としております。今般、上期の業績を鑑みるに、当初計画より業績が下回ったため、当初予定していた1株あたり年間127円(中間60円、期末67円)から配当予想を修正させていただくことといたしました。上期配当金は43円となり、この場合の配当性向は101.6%となります。

以上